

令和5年度

大阪大学

一般選抜（前期日程）

解答例又は出題の意図

英語 F

令和5年度英語 F 出題の意図

I (A)

人間のカロリー摂取を素材にした科学的な内容の英文の一節をとりあげ、指定された箇所の意味を的確に把握し、日本語で表現する力をみる。句のかかり具合や文の構造を正確につかんでいるか、分数表現や比較の表現、now that などの表現を理解して日本語で表しているかがポイントとなる。

(B)

創造性に対する理解の変遷を素材にした論説文の一節をとりあげ、指定された箇所の日本語への訳出を通してその意味が的確に把握できているのかを確認する。文の句切れ目や主部と述部の関係に着目し、長めの文の構造を正確につかんで理解しているかがポイントとなる。意味のとりにくい表現については文脈から推測する力が求められる。

II

「物語を創出する人間の習性」をテーマとする相当な長さの英文を読み、その要点を読み取ることができるかどうかを問う問題である。高等学校で学んだ英語の基礎的な知識を踏まえて、高度な内容の英文を理解するために十分な訓練を積んできたかが試される。英語の読解能力のみならず、明晰な日本語を用いて解答を作成できるかどうかも問われる。

III

効率やスピードを重んじる最近の風潮についてどう考えるか、利点もしくは問題点を1つ挙げて指定された語数の英語で論じる問題である。語彙力、構文力に加えて、自らの考えを論理的に構成された英文で明瞭に書く力を評価する。

IV

「人として信じるに足るかどうかの基準」について書かれたこなれた日本語を、表現方法（語彙力を含む）、文法的正確性、英語らしさ、全体の構成などに注意を払いながら柔軟に置き換える能力が必要とされる。普段の英語学習において、上記のポイントを押さえた上で実際に英文を書く訓練を十分に行うことが重要である。

V

「消えゆく言語」についての英文を聞き、その要点が理解できているかどうかを問う問題である。設問で問われている部分の情報を正確に聞き取る力が必要になる。また、解答は日本語で行うため、聞き取った情報を的確な日本語にまとめて表現する能力も求められる。